



2022年3月期 決算説明資料

2022年5月12日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. その他財務の状況

3. 業績予想

4. 補足資料

総括

- 以下の3点を主要因として、当期純利益が昨対で減少
 - ✓ COVID-19影響長期化、PC出荷市場下落(PC出荷台数減少)の影響により当社販売が落込み
 - ・・・前期比▲2,543百万円
 - ✓ 来期戦略において製品の選択と集中を行った結果、当期において製品評価損等の一過性費用が発生したことにより原価が増加
 - ・・・前期比▲420百万円
 - ✓ COVID-19下で複数の投資先の超過収益力が減少したと判断したことに伴う投資有価証券の減損計上の影響
 - ・・・前期比▲1,168百万円
- 連結子会社のポケットーク社において14.1億円の資金調達

トピックス

- ポケトークアプリ (iOS版/Android版) のローンチ
- 米国における「ポケトーク」の販売引き続き好調(3.4倍)
- 新製品となる360度webカメラKAIGIO CAM360発表
- 22年1月に新機種発売した「AutoMemo」発売後好評

当期の販売実績鈍化の影響に加え、当期末における製品評価損等一過性費用の取込み影響により前年比で経常利益下振れ。

また、投資有価証券の減損損失計上により当期純利益が前年比で減少。

(単位：百万円)

	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	前年比		
			増減金額	増減率	
売上	12,851	10,307	▲2,543	▲19.8%	
営業利益	540	▲2,259	▲2,799	-	
営業利益率	4.2%	▲21.9%	-	▲26.1pt	
経常利益	452	▲2,128	▲2,580	-	
経常利益率	3.5%	▲20.6%	-	▲24.2pt	
当期純利益	191	▲3,502	▲3,693	-	
当期純利益率	2.1%	▲34.0%	-	▲35.5pt	

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

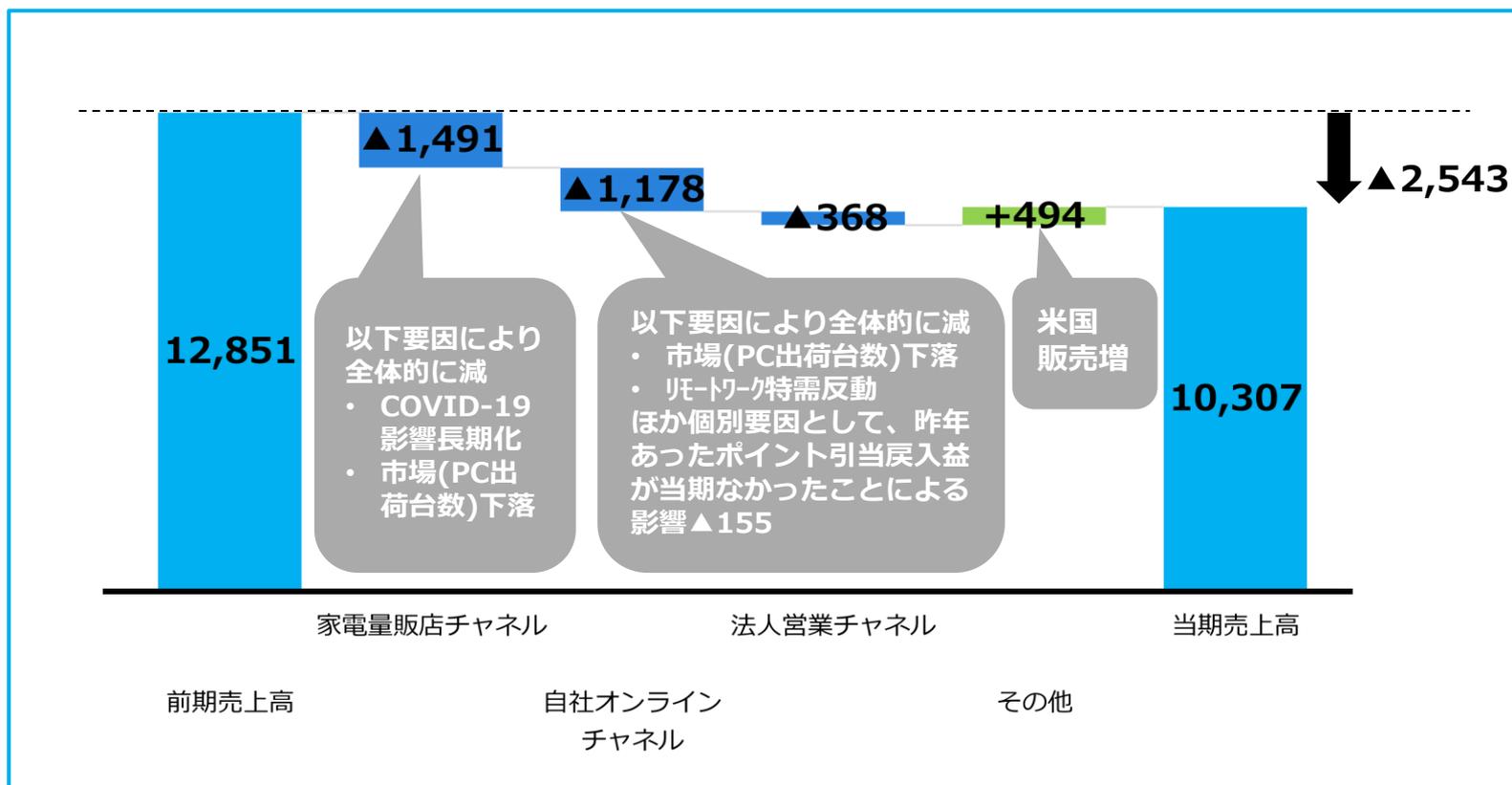
※ 当期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、同会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、2021年3月期の売上高は同基準の適用を行っておりません。

売上高が前期比▲2,543百万円となった主要因は家電量販店チャンネル及び自社オンラインチャンネルの落込み

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少

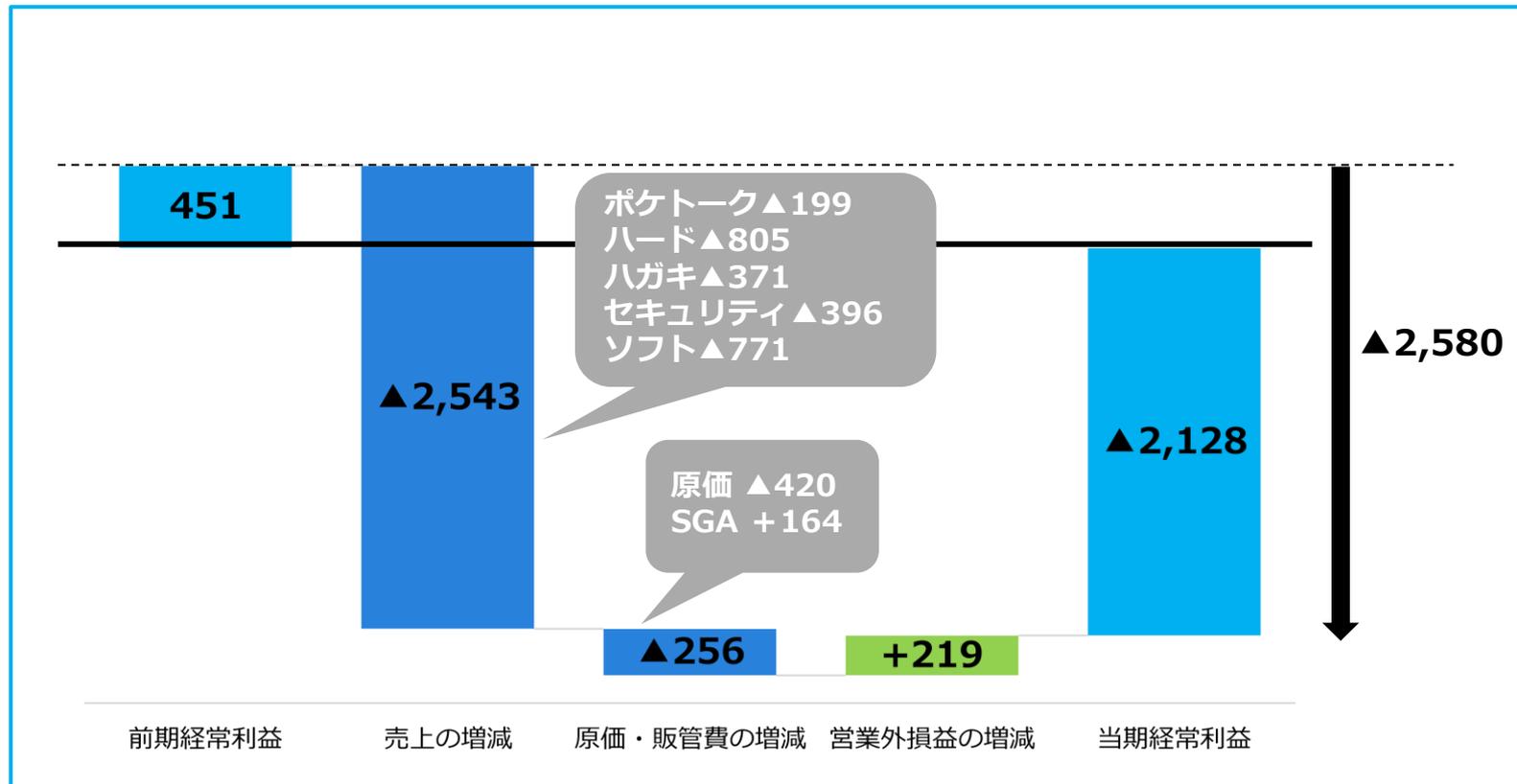
■ 売上ウォーターフォール (チャンネル別)



前期比▲2,580百万円の主要因は販売落込み▲2,543百万円
及び製品評価損等を含んだ売上原価の増加▲420百万円

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少



※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

1. ハイライト 四半期比較(QoQ)

4Qはハガキ等季節性の売上がなくなるため売上高は3Q比▲297百万円。また、製品評価損等一過性費用が生じたことにより原価増加▲797百万円。投資有価証券の減損損失や繰延税金資産の取崩しなどがあり、当期純利益は3Q比で▲2,397百万円。

(単位：百万円)

	2022年3月期				3Q比		
	1Q単体	2Q単体	3Q単体	4Q単体	増減金額	増減率	
売上	2,183	2,813	2,804	2,506	▲297	▲10.6%	↓
営業利益	▲613	43	▲351	▲1,338	▲987	-	↓
営業利益率	▲28.1%	1.6%	▲12.5%	▲53.4%	-	▲40.9pt	↓
経常利益	▲623	110	▲340	▲1,274	▲933	-	↓
経常利益率	▲28.6%	3.9%	▲12.2%	▲50.8%	-	▲38.7pt	↓
四半期純利益	▲468	55	▲345	▲2,743	▲2,397	-	↓
四半期純利益率	▲21.5%	2.0%	▲12.3%	▲109.4%	-	▲97.1pt	↓

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 当期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

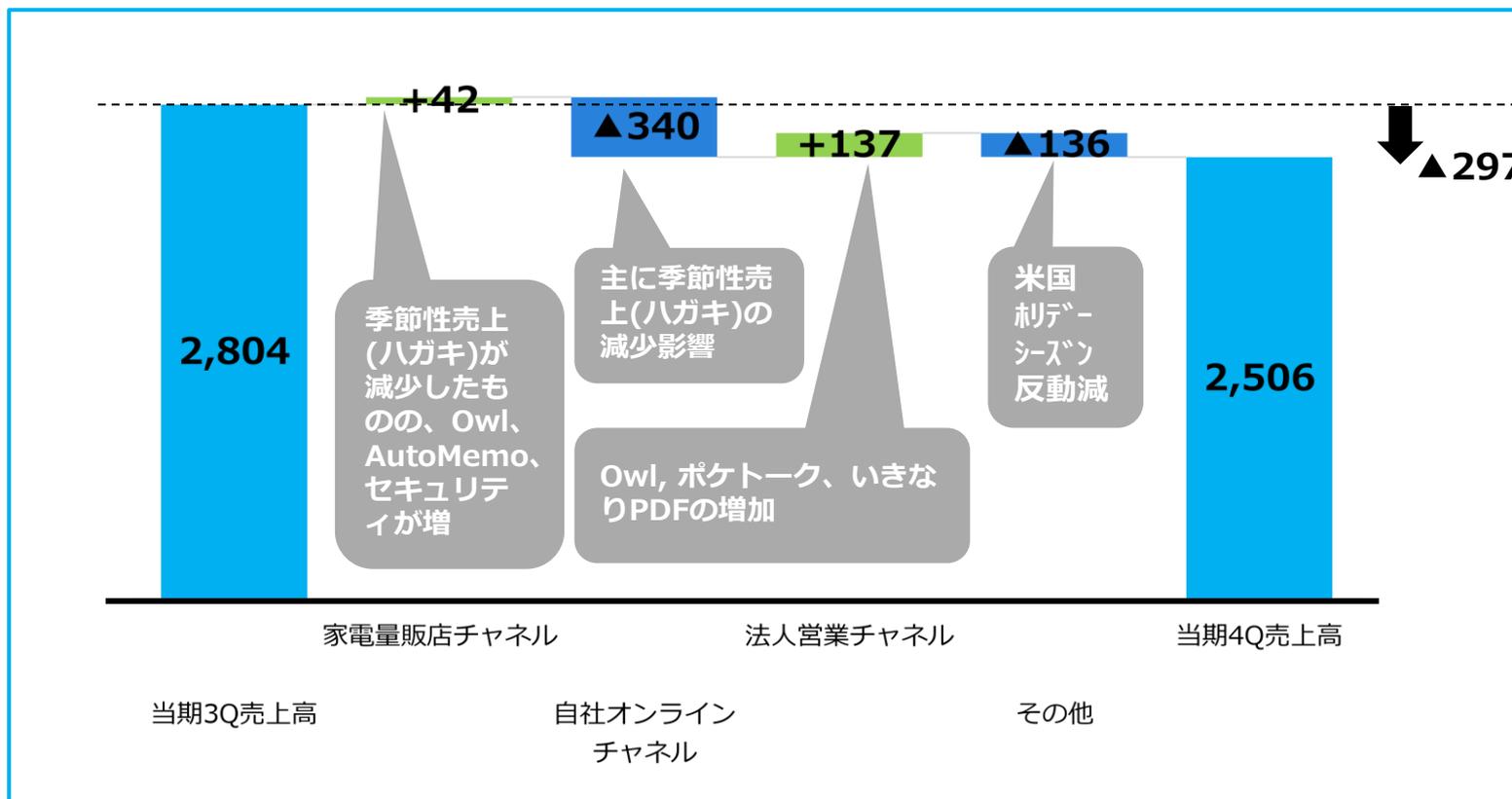
1. ハイライト 四半期比較(QoQ)

4Qはハガキ等季節性の売上がなくなるため売上高が3Q比で▲297百万円減。一方で1月に発売開始となったオートメモ、年度末に需要が伸びたミーティングオウル、法人営業チャンネルにおけるいきなりPDFの大型取引が売上増に寄与。

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少

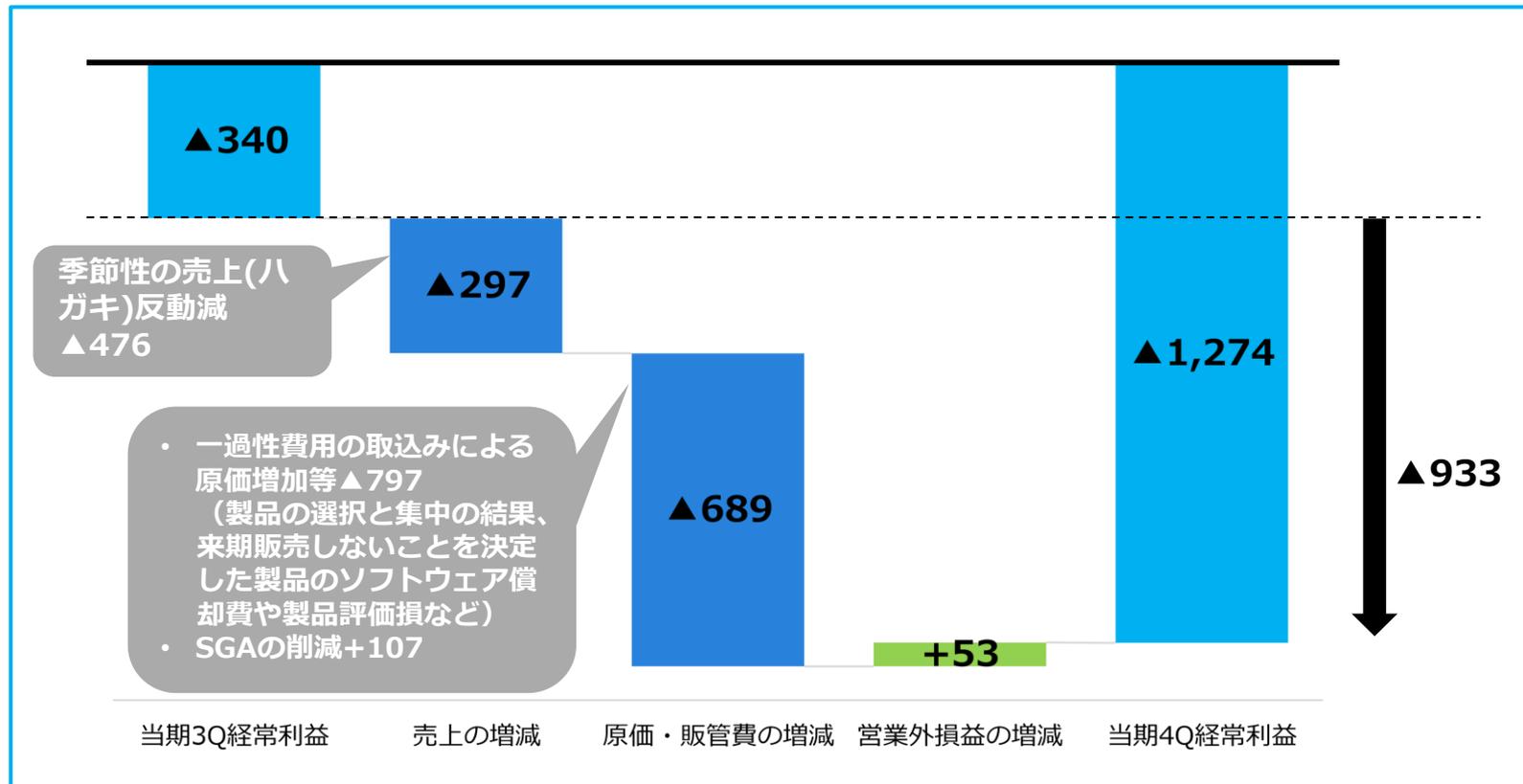
■ 売上ウォーターフォール (チャンネル別)



4Qはハガキ等季節性の売上がなくなるため売上高が3Q比で減少。
 SGA削減107百万円の一方、来期戦略に沿った製品の選択と集中の結果、
 来期販売を行わないことを決定した製品につき製品評価損を計上するなど
 一過性費用を取込み原価が増加、経常利益は3Q比▲933百万円となった。

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少



※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

売上高は予算と同程度の着地となったものの、以下を主要因として経常利益及び当期純利益が予算比で下振れ。

- ・一過性費用の取込みによる原価増加▲451百万円（来期戦略に沿った製品の選択と集中の結果、来期販売を行わないことを決定した製品の評価損等を取込み）
- ・一過性損失の取込みによる特別損失及び法人税等調整額の増加▲1,368百万円（投資有価証券の減損損失、繰延税金資産の評価性引当額計上による法人税等調整額の計上）

（単位：百万円）

	2022年3月期 (2月14日修正予算)	2022年3月期 (実績)	予算比		
			増減金額	増減率	
売上	10,492	10,307	▲184	▲1.8%	↓
営業利益	▲1,769	▲2,259	▲490	-	↓
営業利益率	▲16.9%	▲21.9%	-	▲5.1pt	↓
経常利益	▲1,736	▲2,128	▲392	-	↓
経常利益率	▲16.5%	▲20.6%	-	▲4.1pt	↓
当期純利益	▲1,741	▲3,502	▲1,761	-	↓
当期純利益率	▲16.6%	▲34.0%	-	▲17.4pt	↓

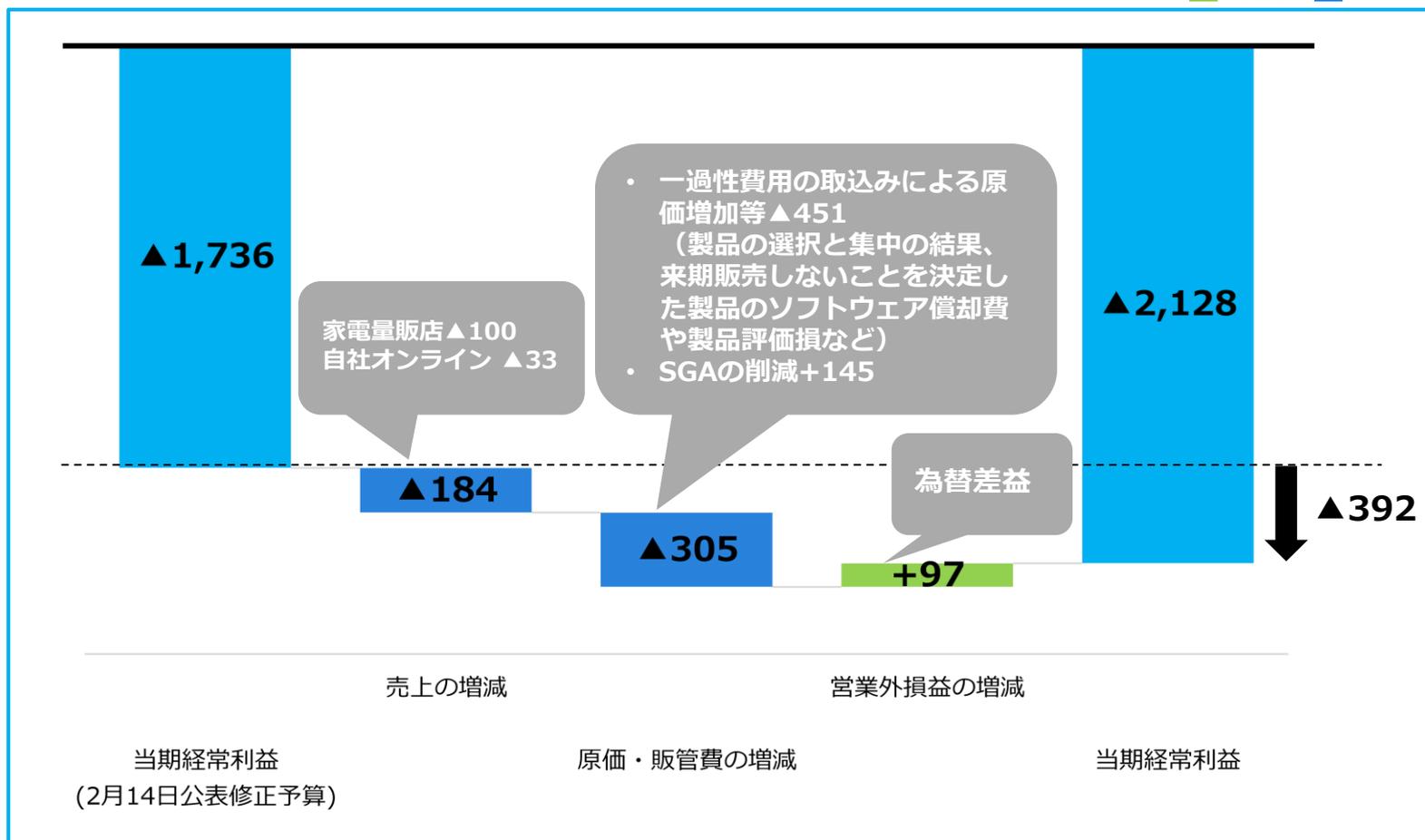
※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※ 当期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

広告宣伝費及び販売促進費を中心にSGA絞り込みを行ったものの、販売落ち込みを主要因として予算比ビハインド

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少



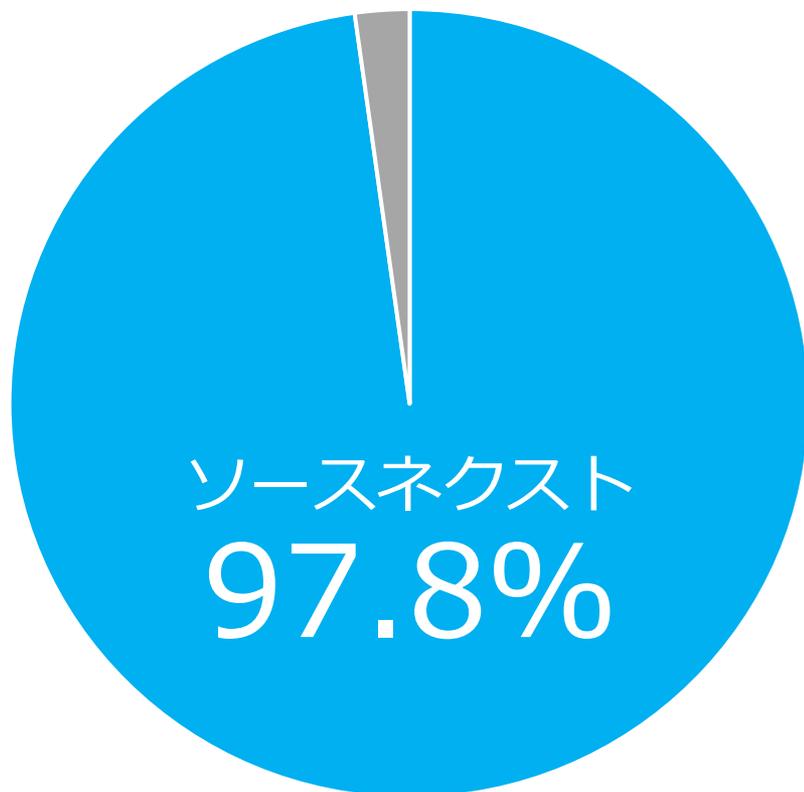
※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

ポケットークの近況

POCKETALK.



2022年3月「翻訳機」月間販売金額シェア



52ヶ月連続販売金額シェア

第1位

21年9月
90万台突破

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

ミッション

言葉の壁をなくす

米国でのポケットーク展開インダストリー

POCKETALK™

**Logistics &
Distribution**

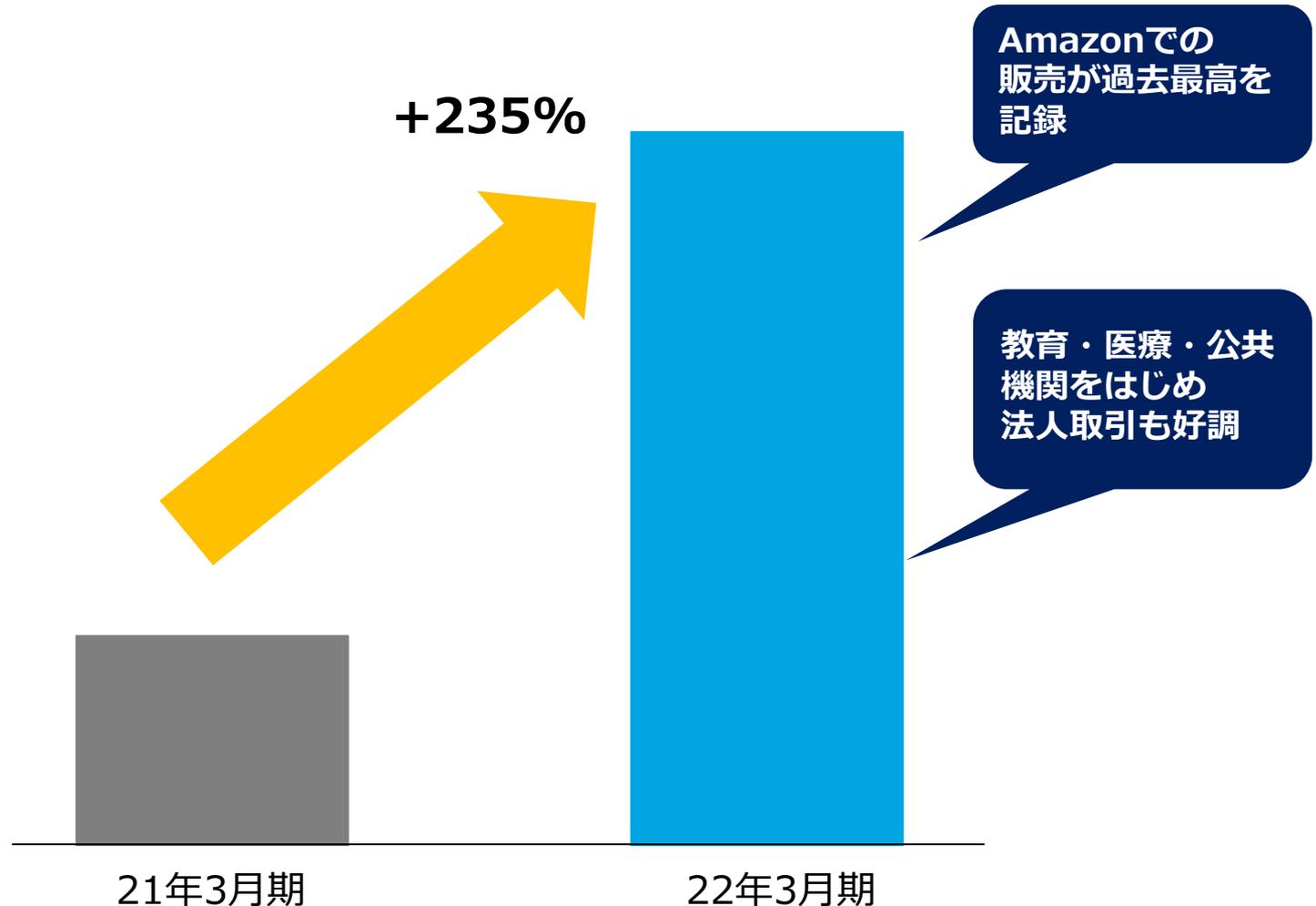
Healthcare

Education

Government

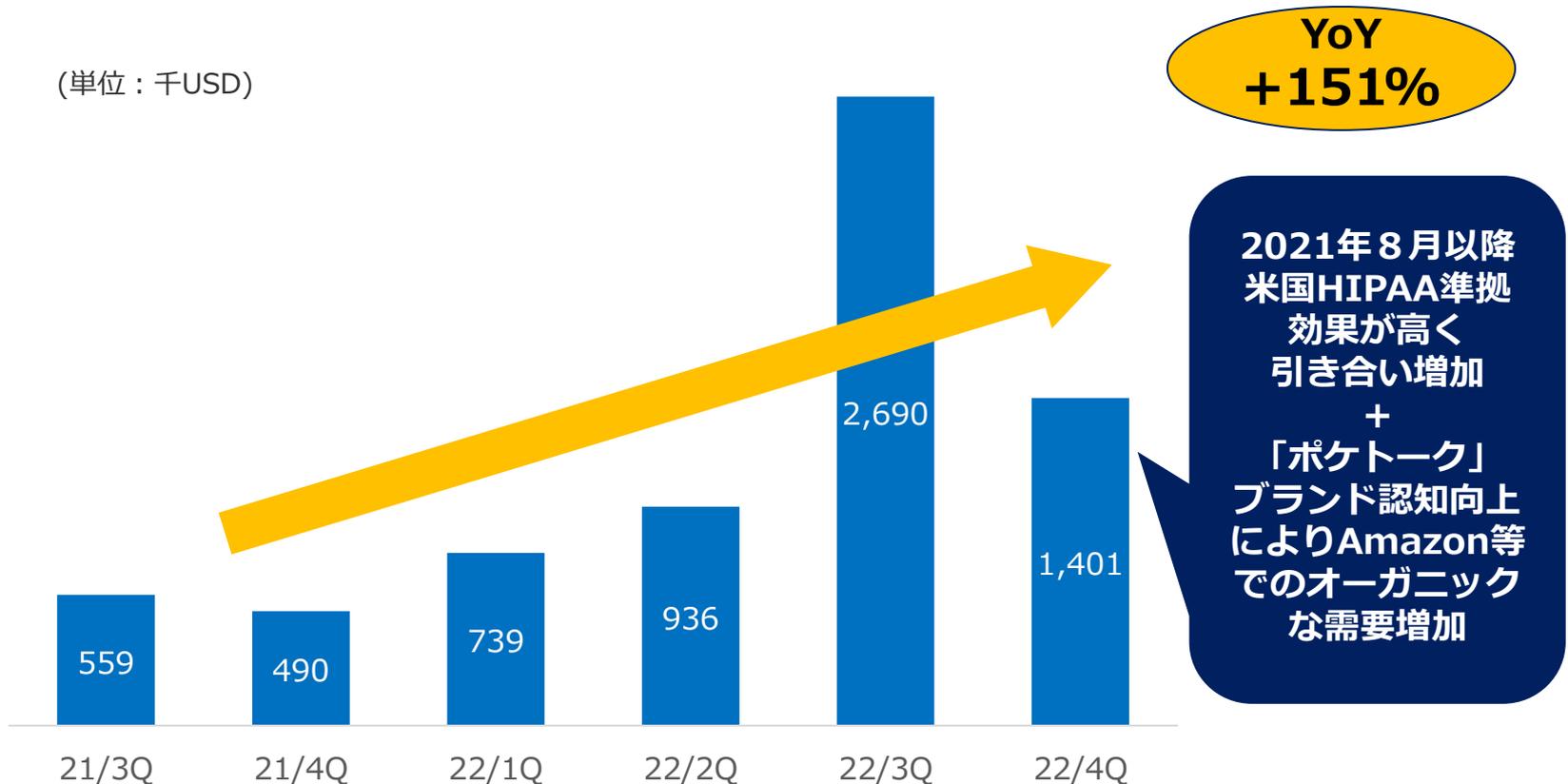
**Travel &
Entertainment**

米国でのポケットーク販売台数 高成長



米国でのポケットーク売上高続伸 (3Qはホリデーシーズンもあり過去最高を記録)

(単位：千USD)



欧州の販売状況

2022年3月売上高成長率（前年同月比）

イタリア	1.4倍
ドイツ	2.2倍
スペイン	2.4倍
フランス	5.6倍

米国同様に欧州での販売も順調に拡大
(欧州のオペレーションを米国傘下に移管した効果が出始めている)

ポケットーク社傘下の米国・欧州子会社 名称を変更

変更前

**SOURCENEXT
Inc.**



変更後

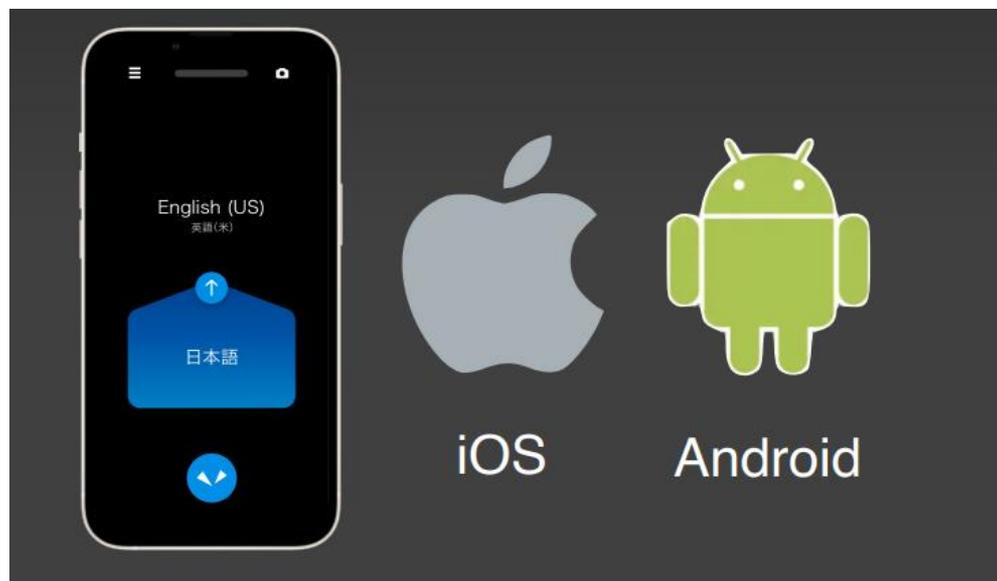
**POCKETALK
INC.**

**Sourcnext
B.V**



**POCKETALK
B.V.**

ポケットークのプロダクトラインナップ 「ポケットークアプリ」を新たに発表



ポケットークアプリの特長

- ①高い翻訳精度
- ②速い翻訳速度
- ③シンプルなUI

端末で培ったポケットークの仕組みを活かし、
アプリとしてスマートフォン・タブレットへ導入可能

ポケットークアプリ ソフトバンク社との間でキャンペーンに係る 業務提携発表



キャンペーン内容

ソフトバンクやワイモバイルユーザーを対象に、10月31日（月）迄の期間にAI通訳アプリ「ポケットーク」（iOS版/ Android版）の利用を開始すると、利用料が利用開始日から6か月間無料となるキャンペーンを実施

ポケットークの3つのプロダクトラインナップ “Voice Translator”に特化した強力なラインナップにて 国内・海外の展開強化を図っていきます

ポケットーク

ポケットーク(専用機)

ポケットークアプリ
(スマートフォン)

ポケットーク字幕 (PC)

English (US)
英語 (米国)

日本語

English (US)
英語 (米)

日本語

English (US)
英語 (米)

日本語

The infection with the new coronavirus has calmed down for a while, but the spread of the new mutant Omicron strain is a recent topic.

Windows Mac

iOS Android

ウクライナ大使館に ポケットークを1,000台寄贈



兵庫県に ポケットークを100台寄贈



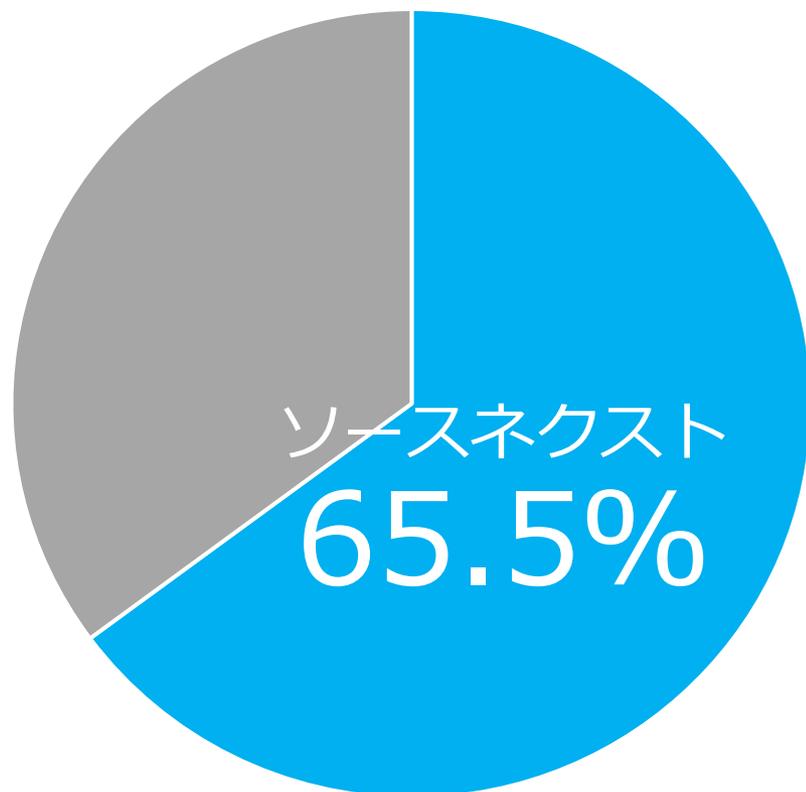
ポーランドにて 避難民にポケットークを寄贈



Meeting Owlの近況



2022年3月「ビデオ会議システム」 月間販売金額シェア



20ヶ月連続販売金額シェア

第1位

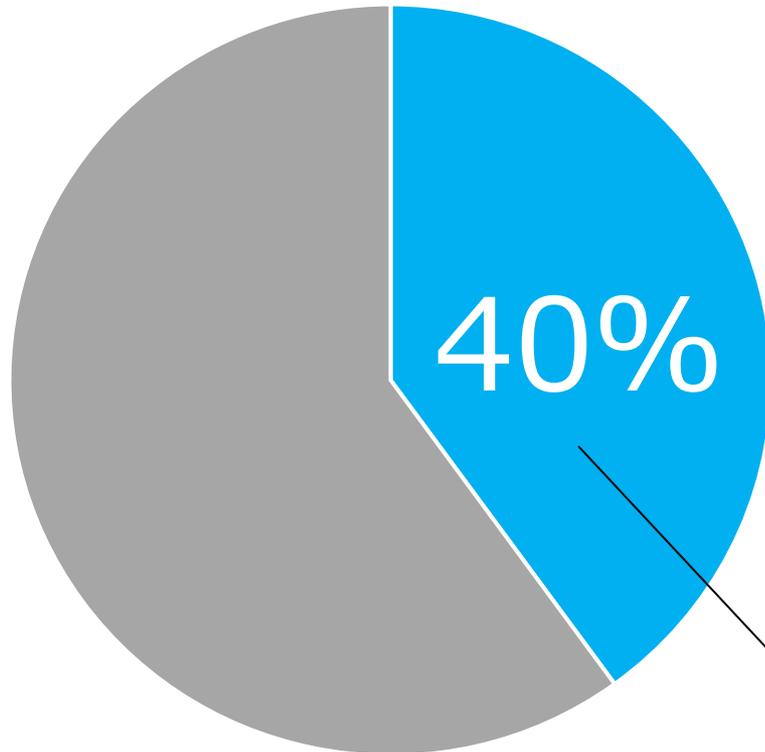
22年2月

累計出荷台数

20,000台を突破

出典：「ビジュアルカメラ」より「ビデオ会議システム」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

従業員数が多い会社 上位100社中 40%が導入



従業員数が多い会社
ランキング上位100社



ミーティング・オウル
導入企業

出典：東洋経済新報社「従業員数（連結）の多い上場企業上位100社（会社四季報CD-ROM2021年2集で集計）」

新製品
KAIGIO CAM360
22年4月発表・発売



360度カメラ ラインナップ



KAIGIO CAM360

88,000円（税込）

- ・参加者全員を映す
- ・豊富な画面分割モード
- ・高画質



Meeting Owl

99,880円（税込）※

- ・話者に自動フォーカス
- ・2台連結で大会議室でも使える
- ・アプリと連携で多機能

用途や利用環境に合わせて選べるラインナップに

変化する働き方

対面



オンライン

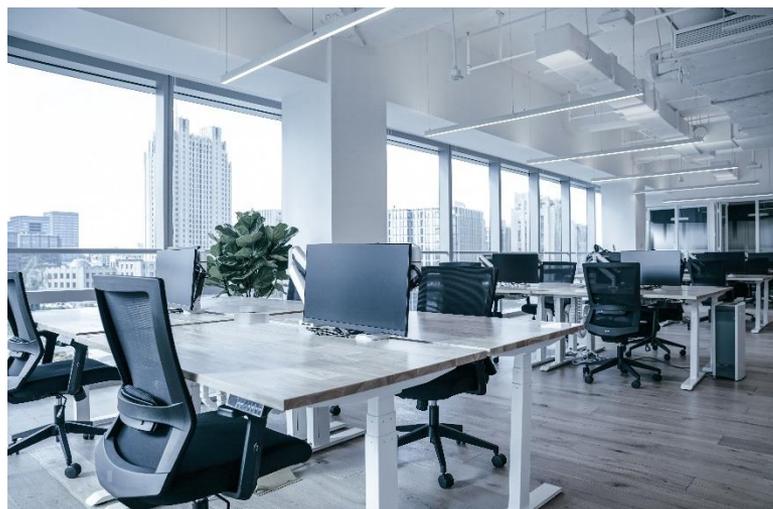


対面+オンライン

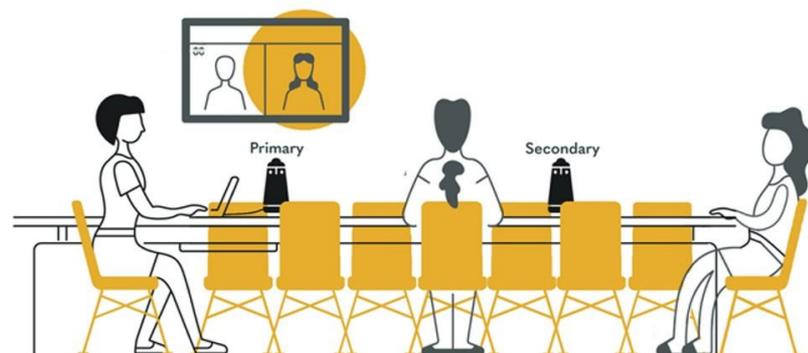
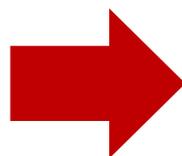


オンラインとオフラインが融合する
ハイブリッドワークが主流に

本格的なハイブリッドワーク進捗 Owl/CAM360の需要が更に高まると予想



外出規制時
テレワーク中心



外出規制解除後
ハイブリッドワーク増加

オフィスにも人も戻りつつあり、
会社(会議室)でのビデオ会議
需要が今後更に高まると予想

*ハイブリッドワーク：オフィスワークとテレワークを組み合わせた働き方として定義

出典(画像左)：Shutterstock.com

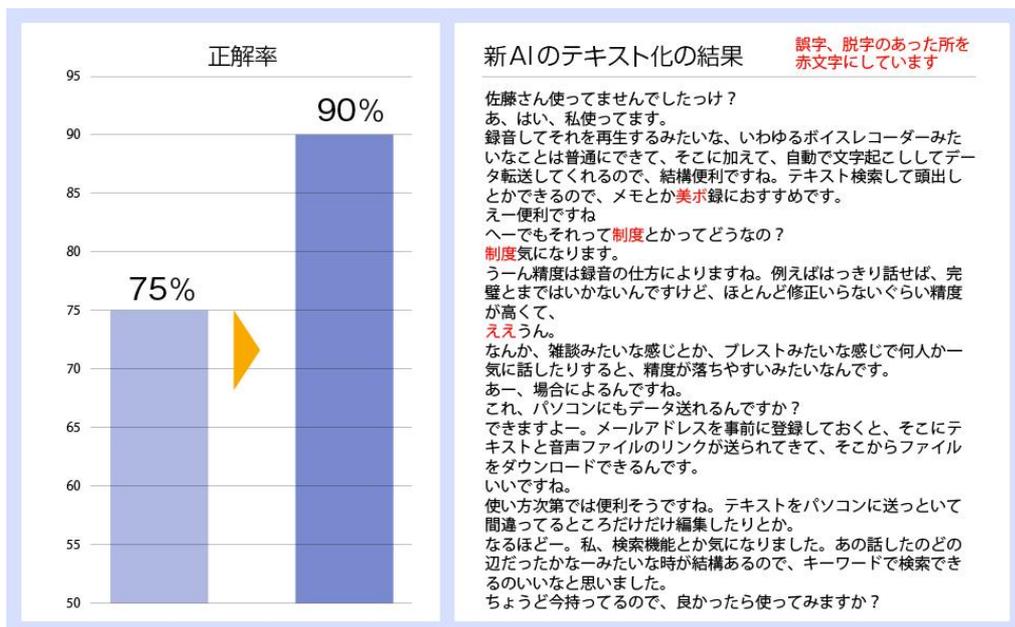
AutoMemoの近況



AIボイスレコーダー最新機種発売(22年1月) 「AutoMemo S」

発売開始後の注目すべきポイント

- ① 認識精度の大幅改善(従来75%→新90%)
- ② 発売開始後 好評(ユーザー満足度大幅改善)
- ③ サブスク加入率の増加



とにかく使いやすい。電源が入った瞬間、入力ミスなしに即座に完了。普段聴いているニュースを録音し試したのですが、ネット上同様のスピードで解読、テキスト着信。完璧なお仕事をこなしてくれました。封を開けて数分以内の出来事です。

1時間ほどの会議で使いました。wifi接続しておき、録音終了ボタンを押すと、指定したファイル(私はOneDrive)にテキスト、音声(mp3)が届きます。最初は、おーっと感動しましたが、すぐ慣れてしまいました(笑)時間は計ってませんが、5分以内、結構早かったです。

過去の録音からもう一度聞きたいことを探すのも検索機能で探せて便利。
保存した内容はすぐにテキスト化された録音内容を登録したPCメールに直接送信するように設定できるので、編集して原稿として仕上げるのにもピッタリ。72言語で文字起こしできてすごく便利です。

1. ハイライト

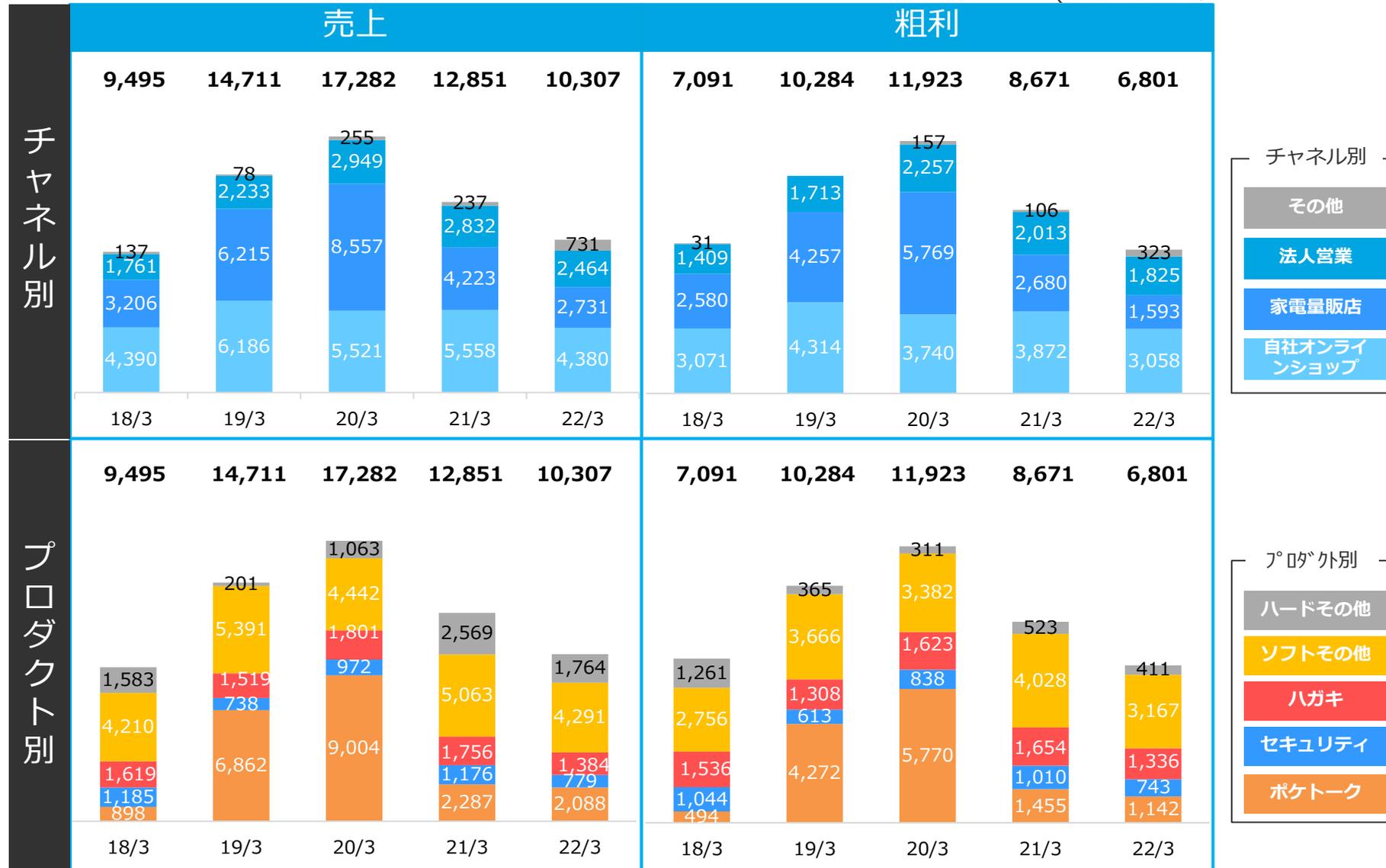
2. その他財務の状況

3. 業績予想

4. 補足資料

2-1. 売上・粗利の推移(年次)

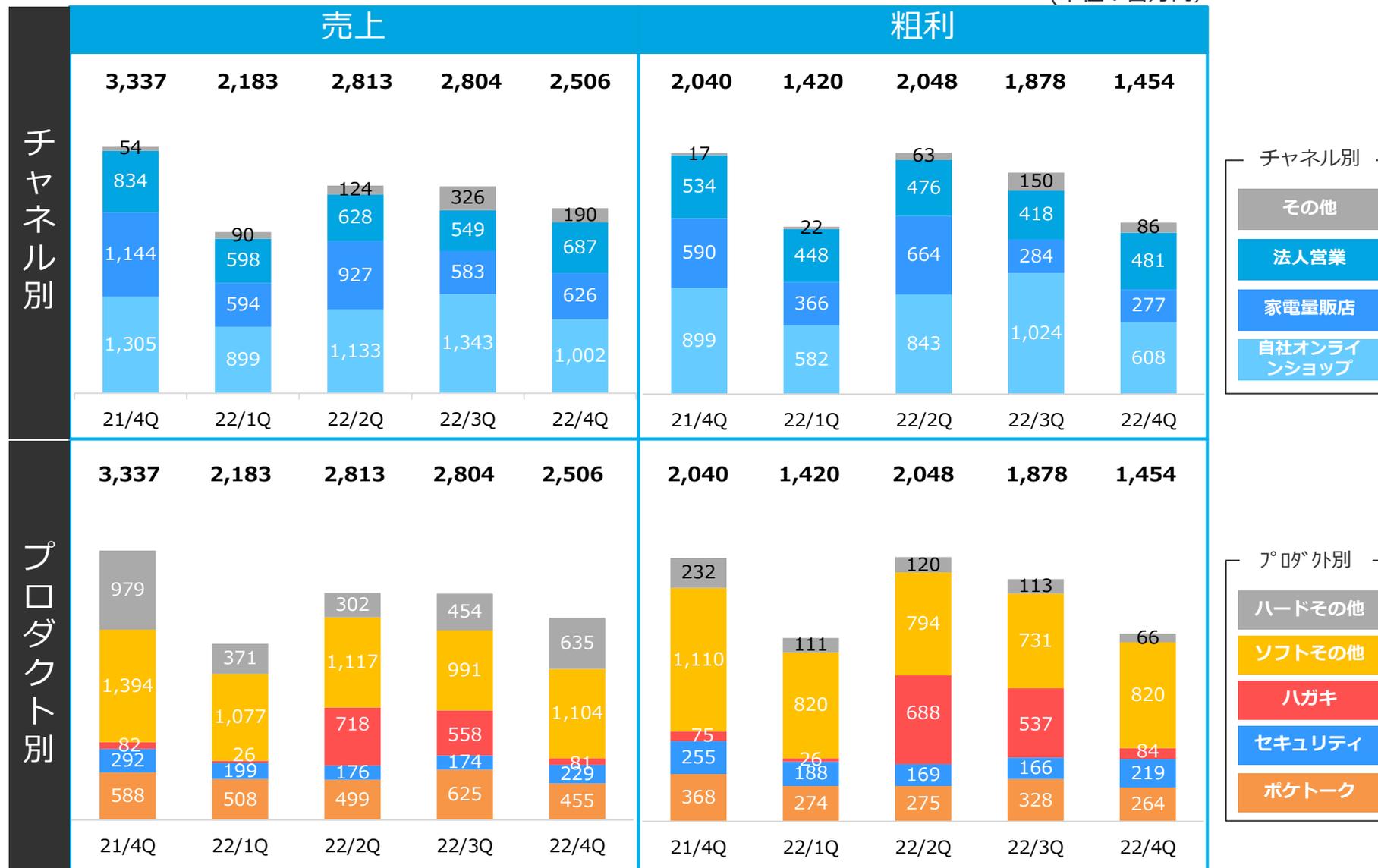
(単位：百万円)



※ 粗利は各製品・チャンネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。
 ※ 当期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、同会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、2021年3月期以前の売上高は同基準の適用を行っておりません。

2-2. 売上・粗利の推移(四半期)

(単位：百万円)



※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。
 ※ 当期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、同会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、2021年3月期(21/4Q)の売上高は同基準の適用を行っていません。

販売減及び特別損失の影響が大きく純損失となったものの 自己資本比率47%

(単位：百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	13,465	12,846	▲619	▲4.6% 
うち現金及び預金	4,779	5,451	+671	+14.0% 
固定資産	6,865	7,134	+269	+3.9% 
総資産	20,331	19,981	▲350	▲1.7% 
流動負債	6,538	8,256	+1,717	+26.3% 
固定負債	1,428	1,765	+337	+23.7% 
純資産	12,364	9,959	▲2,405	▲19.5% 
自己資本比率	60.1%	47.9%	-	▲12.1pt 

1. ハイライト

2. その他財務の状況

3. 業績予想

4. 補足資料

2023年3月期の通期連結業績予想は以下の通り

(単位：百万円)

	2023年3月期 通期			2022年3月期 通期	差異 通期
	連結	ソースネクスト社	ポケットーク社	連結	連結
売上	12,795	10,100	2,695	10,307	+2,488
営業利益	▲850	485	▲1,335	▲2,259	+1,409
経常利益	▲945	450	▲1,395	▲2,128	+1,183
当期純利益	▲995	310	▲1,395	▲3,502	+2,507
EPS(円)	▲7.34	/		▲25.77	+18.43
年間配当金 (円)	-	/		-	-

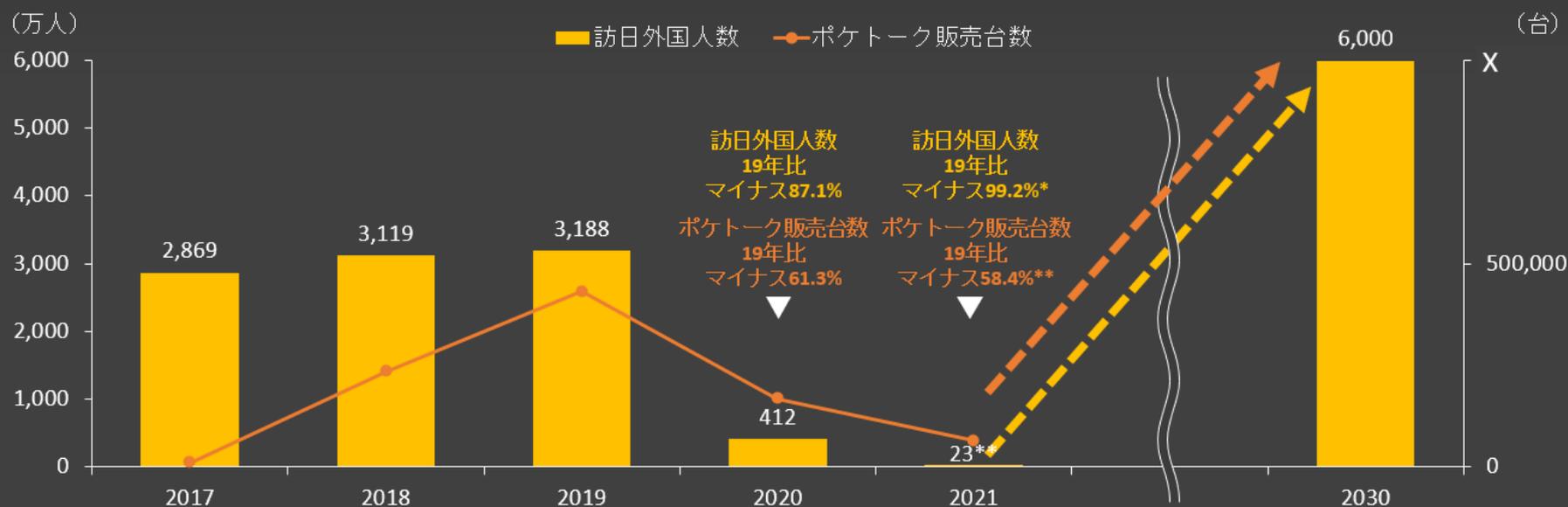
- ※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益（ソースネクスト社及びポケットーク社については「当期純利益」）
- ※ EPS：1株あたり当期純利益
- ※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ ポケットーク社の数字はポケットーク社+Inc+BVの合算値であり、連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ 当期純利益について連結数字と内訳合算値との差額は非支配株主に帰属する当期純利益です。
- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

- ソースネクスト社では販売に注力する製品の選択と集中を行い黒字となる一方、ポケットーク社では成長投資フェーズと位置づけ広告宣伝や人材採用等積極的な投資を行う想定のため、連結ベースでは赤字となる見込み
- 「ポケットーク」の販売状況を大きく左右する、国境をまたいだ人流の復活（開国）が当社にとっては重要なイベントとなる。このタイミングが2023年3月期第4四半期になるというシナリオに基づき、2023年3月期の業績見込みを作成
- ソースネクスト社の重点取組み製品は以下の通り
IoTハード製品：KAIGIO CAM360、ミーティングオウル、オートメモ
ソフトウェア製品：ハガキ製品、セキュリティ製品、いきなりPDF、
スマート留守電 など

ポケットークの今後について

訪日外国人数とポケトーク端末販売台数の時系列比較

- ・ コロナによる訪日外国人数の減少に影響により、販売台数は足元急減している状況
- ・ 政府は2030年に訪日外国人数6,000万人を目標としており、コロナ影響からの回復後は過去水準以上の販売拡大が見込まれる



出所：観光庁

*2021年1月-11月実績 **2021年度のポケトーク販売台数は1月-9月の実績

ポケットークの国内需要回復のポイント

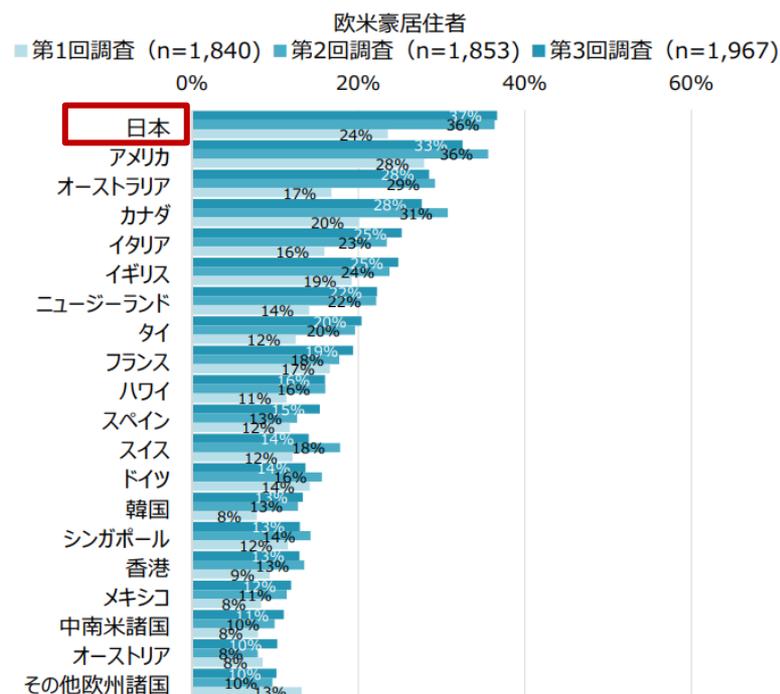
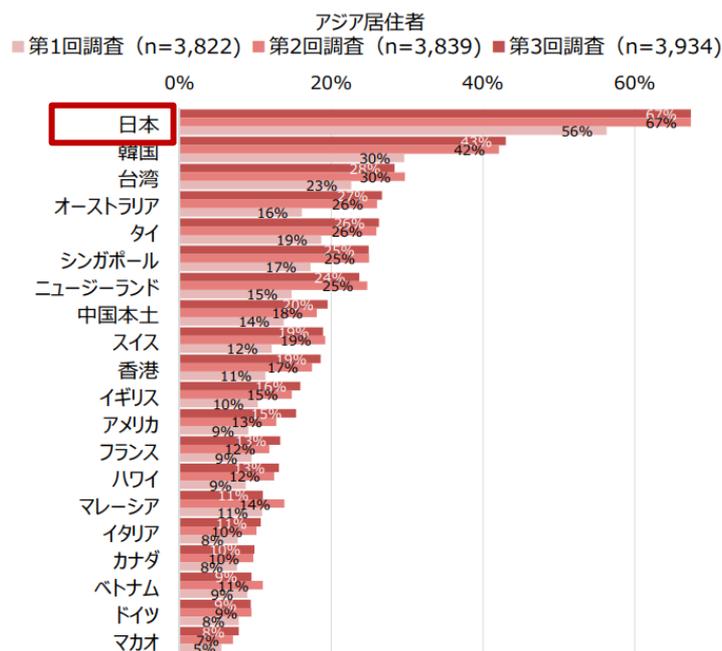
- ①日本は海外旅行に行きたい国No.1
- ②日本の安い物価
- ③円安の急速な進行
- ④日本の英語力の低さ
- ⑤開国に向けた動き

① コロナ明けに旅行したい国 日本が第1位

海外旅行希望者※1

次に海外旅行したい国・地域※2（回答は最大5つまで）

（第3回調査における割合で降順ソート・上位20位まで）



出典：
日本政策投資銀行・（公財）日本交通公社「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査
（第3回 新型コロナ影響度 特別調査）」

②安い物価

世界のビックマック価格ランキング

1位	スイス	¥804	21位	チェコ	¥473	41位	ベトナム	¥351
2位	ノルウェー	¥737	22位	サウジアラビア	¥461	42位	ヨルダン	¥345
3位	アメリカ	¥669	23位	バーレーン	¥458	43位	オマーン	¥344
4位	スウェーデン	¥667	24位	チリ	¥447	44位	モルドバ	¥333
5位	ウルグアイ	¥625	25位	タイ	¥443	45位	香港	¥325
6位	イスラエル	¥616	26位	中国	¥442	46位	フィリピン	¥321
7位	カナダ	¥613	27位	韓国	¥440	47位	エジプト	¥312
8位	ベネズエラ	¥583	28位	ニカラグア	¥435	48位	台湾	¥311
9位	ユーロ圏	¥571	29位	ホンジュラス	¥417	49位	アゼルバイジャン	¥305
10位	デンマーク	¥556	30位	カタール	¥411	50位	南アフリカ	¥297
11位	イギリス	¥555	31位	クロアチア	¥406	51位	インド	¥293
12位	アラブ首長国連邦	¥533	32位	ポーランド	¥396	52位	ウクライナ	¥280
13位	ニュージーランド	¥530	33位	日本	¥390	53位	ルーマニア	¥277
14位	オーストラリア	¥520	34位	グアテマラ	¥390	54位	マレーシア	¥275
15位	シンガポール	¥503	35位	ペルー	¥387	55位	インドネシア	¥272
16位	ブラジル	¥497	36位	パキスタン	¥385	56位	トルコ	¥215
17位	アルゼンチン	¥494	37位	メキシコ	¥385	57位	ロシア	¥201
18位	スリランカ	¥478	38位	コロンビア	¥379			
19位	クウェート	¥476	39位	レバノン	¥375			
20位	コスタリカ	¥475	40位	ハンガリー	¥356			

②安い物価

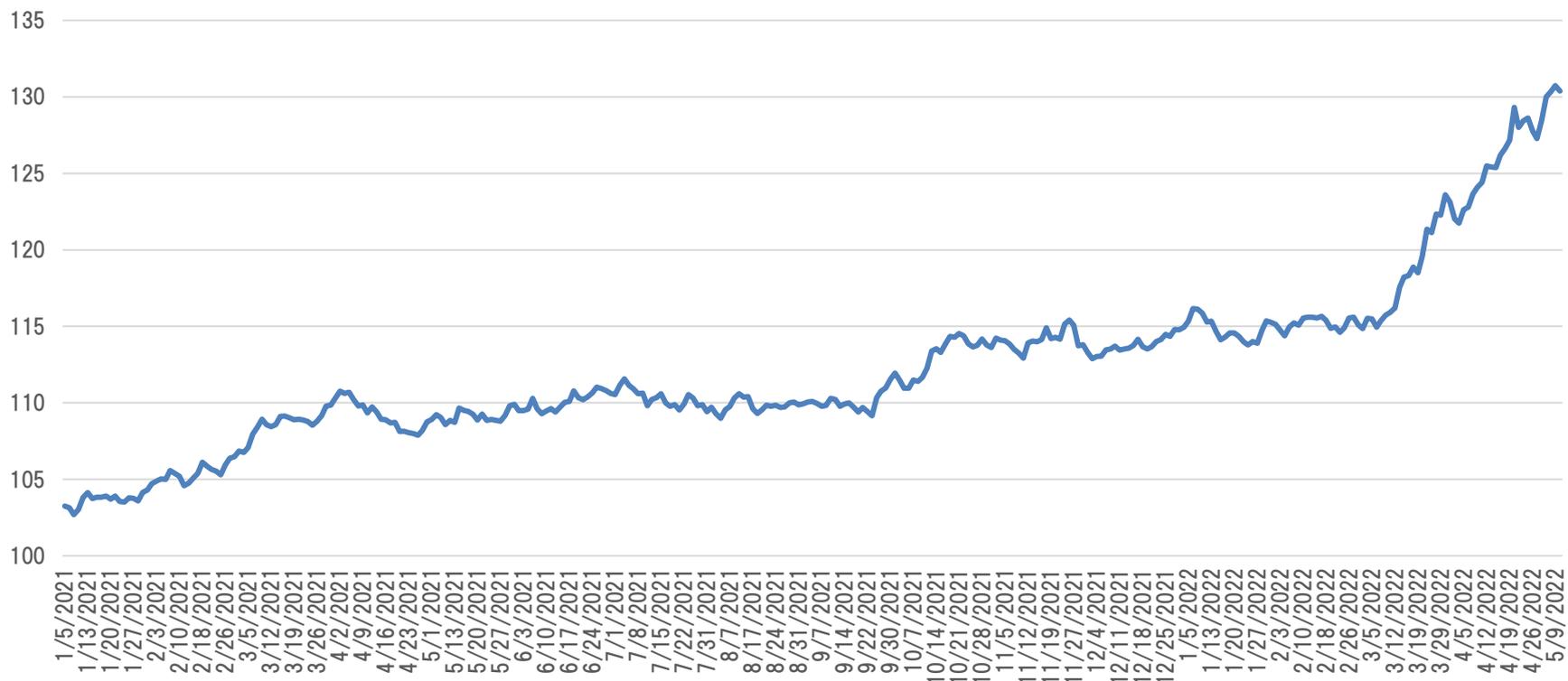
アメリカとの価格比較

	日本	アメリカ	
ビッグマック	¥390	¥669	1.71倍
ディズニーパスポート	¥9,400	¥20,385	2.16倍
Amazon Prime 年会費	¥4,900	¥17,277	3.52倍

日本の物価は非常に安い

③円安の急速な進行

USドル/円の為替レート



2021年1月以降、20%以上下落

④日本の英語力

世界の英語能力指数ランキング

1位 オランダ

2位 オーストリア

3位 デンマーク

・
・
・

78位 日本

日本の英語力は世界112ヶ国中78位と低い

⑤開国に向けた動き

2022年5月5日時点 岸田首相

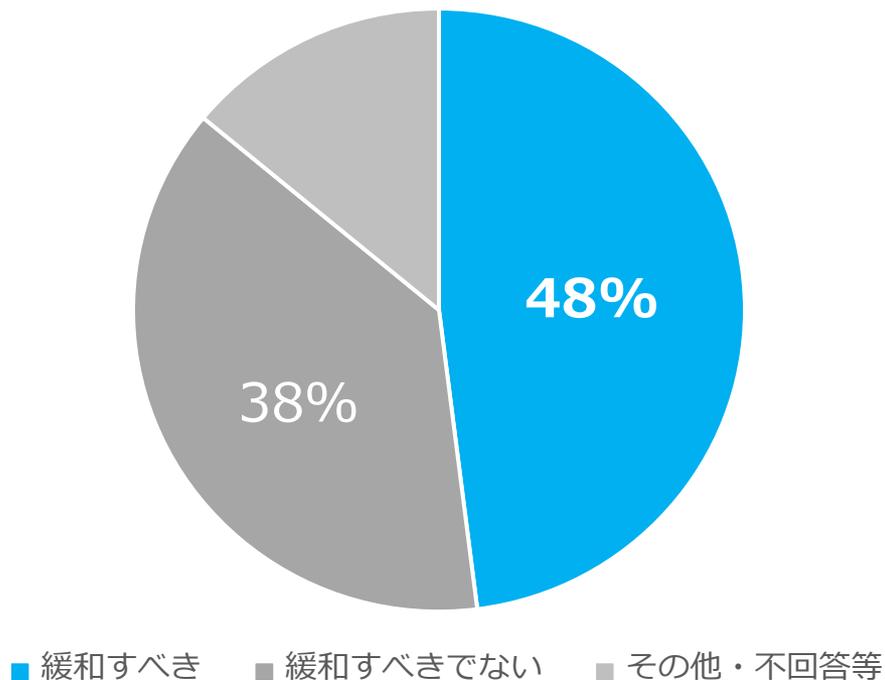
「世界的にみても日本のコロナ対策は成功している」とした上で、「**6月には他のG7並みに円滑な入国が可能となるよう水際対策を更に緩和していく**」と述べる



- 順次、国際的な人の往来がコロナ前の水準近くまで戻ってくる事が予想される
- 現在は観光客の入国が認められていないが、これが実現すれば水際対策の大幅な緩和に伴うインバウンド需要の復活が期待される

JNN世論調査 (2022年5月7日・8日実施)

新型コロナウイルスの水際対策



開国への世論の高まり

ポケトーク

ポケトーク(専用機)



ポケトークアプリ
(スマートフォン)



iOS



Android

ポケトーク字幕 (PC)



Windows



Mac



1. ハイライト

2. その他財務の状況

3. 業績予想

4. 補足資料

(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,700	66,100									

(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,700									

出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

次の常識をつくる

We Source What's Next.



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。